

仕 様 書

1 件名

仙台第3合同庁舎非常用発電設備点検

2 目的

本業務は、非常用発電設備について消防法 17 条の 3 の 3 の規定に基づく定期点検を行い、機能の維持及び安全性を確保し、非常時に際して正常かつ安定した動作を保持することを目的とする。

3 履行場所

仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号 仙台第 3 合同庁舎

4 履行期限

令和 8 年 3 月 19 日（木）

5 仕様

本仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書（最新版）」及び消防法等関係諸法規に基づくこと。

（1）対象設備

非常用発電設備（ヤンマー AT600S）

- ・原動機（ガスタービン）

形式 単純開放サイクル軸式

定格出力 400KW

- ・発電機

形式 保護形自己通風式

出力 500KVA

電圧 6,600V

周波数 50Hz

- ・自動運転制御装置（TAC2）

（2）作業内容

- ① 消防法令による機器点検及び総合点検の各点検を年 2 回（8 月及び 2 月）に行うこと。
- ② 別紙点検票の点検項目に該当する項目を全て点検するものとする。ただし、始動用蓄電池設備を除く。
- ③ 点検にあたっては、消防法令に基づく有資格者で点検業務に精通した者 1 名を責任者とするとともに作業員を指定し、これらの者の住所・氏名及び資格等書面をもって通知すること。
- ④ 点検終了後、諸機器については点検前の状態に復元すること。
- ⑤ 本仕様書の各項目及び仕様細目について、不明な場合は監督職員と十分な打ち合わせを行うこと。

6 監督及び検査

- (1) 監督職員が本仕様書等の内容に適合するか否かについて、監督を行う。
- (2) 検査職員が給付の終了した旨の通知を受けた日から 10 日以内に検査を行う。

7 提出書類

- (1) 作業工程表及び作業従事者名簿
契約後速やかに作業工程表及び作業従事者名簿を提出すること。
- (2) 点検票
点検終了後、速やかに別紙点検票を 2 部監督職員へ提出すること。
- (3) 作業報告書
作業状況を写真撮影し、編集したものを 2 部監督職員へ提出すること。

8 代金支払等

代金の支払いは 1 回払とし、検査合格後、適法な請求書を受理した日から 30 日以内に支払うものとする。

作業従事者名簿

令和 年 月 日

[illegible]

非常電源（自家発電設備）点検票（設備名）						
名 称				防火管理者		
所 在				立 会 者		
点 検 種 別		機 器 ・ 総 合		点検年月日		年 月 日～ 年 月 日
点 検 者		資 格 番 号		点 検 者 所属会社		社名 TEL
		氏名				住所
点 検 設 備 名		原動機	製造者名		発電機	製造者名
			型 式 等			型 式 等
点 検 項 目			点 検 結 果			措 置 内 容
			種別・容量等の内容		判定	
機 器 点 検						
設 置 状 況	周 囲 の 状 況					
	区 画 等		キュービクル式 キュービクル式以外			
	水 の 浸 透					
	換 気		自然 機械			
	照 明					
	標 識					
表 示						
自 家 発 電 装 置	原 動 機 ・ 発 電 機					
	冷 却 装 置	ラジエータ，配管等				
		冷却ファン				
	潤 滑 油 類					
	そ の 他 の 付 属 機 器 類					
始 動 装 置	※ 始 動 用 蓄 電 池 設 備					
	始動用空気 圧縮設備	外 形				
		空 気 だ め		MP a	ℓ	
		潤 滑 油 類				
	始 動 用 燃 料					

- 備考
- この用紙の大きさは，日本産業規格A4とすること。
 - 種別・容量等などの内容欄は，該当するものについて記入すること。
 - 判定欄は，正常の場合は○印，不良の場合は×印を記入し，不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 選択肢のある欄は，該当事項に○印を付すこと。
 - 措置内容欄には，点検の際措置した内容を記入すること。
 - 票中※印のあるものは，非常電源（蓄電池設備）の点検票を添付すること。

制 御 装 置	周 囲 の 状 況					
	発 電 機 盤					
	自 動 始 動 盤					
	補 機 盤					
	電 源 表 示 灯					
	表 示 灯					
	開閉器・遮断器					
	ヒ ュ ー ズ 類		A			
	継 電 器					
保 護 装 置						
計 器 類						
燃料容器等	外 形					
	燃料貯蔵量	種類	ℓ			
冷却水 タンク	外 形					
	水 量		ℓ			
排気筒	周囲の状況					
	外 形					
	貫 通 部					
配 管						
結 線 接 続						
接 地						
始 動 性 能						
運 転 性 能						
停止性能	手動停止					
	自動停止					
耐 震 措 置						
予 備 品 等						
総 合 点 検						
接 地 抵 抗		種 別	Ω			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 6 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。

絶 縁 抵 抗		MΩ						
始 動 装 置	※ 始 動 用 蓄 電 池 設 備							
	始 動 用 空 気 圧 縮 設 備	ℓ						
	始 動 補 助 装 置							
保 護 装 置								
負 荷 運 転	運 転 状 況							
	換 気	最終室温	℃					
切 替 性 能	運 転 切 替 装 置							
	※ 蓄 電 池 切 替 装 置							
	始 動 用 燃 料 切 替 性 能							
備 考	電気主任技術者 氏名及び資格							
測 定 機 器	機器名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	機器名	型 式	校正年月日	製 造 者 名

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
 - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
 - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
 - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
 - 6 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。